



# 第88号 2023. 3. 20

(公社)津法人会 青年部会  
津市広明町121番地 津税理士会館4階  
TEL(059)225-1302



(Instagram)



(ホームページ)

## 提 言

### 「ツーリズム」

2022年を振り返ると、新型コロナウイルス感染の波に応じて、旅行需要が一進一退を続ける状況であったが、一方で世界に遅れをとることなく経済を正常化していこうという動きが加速していった。夏頃、国による「一律の行動制限は課さない」とした指針が示され、10月に「全国旅行支援」と「水際対策緩和」が開始されたことは、旅行に対して躊躇していた消費者の背中を押して、旅行需要を回復に向かわせる牽引役となりました。この時から、行動とリスクを自分自身で考え、主体的に動けるようになったのではないのでしょうか。

新型コロナウイルスが感染拡大し、休暇や旅行などのレクリエーションは、「不要不急」というキーワードにより多くの人から長距離旅行という選択肢を失わせてしまいました。困窮を極める観光業界が練り出した策が「マイクロツーリズム」です。

回復傾向にある旅行需要のなか、社会課題とも連動した「マイクロツーリズム」は、およそ2年半ぶりに再開された訪日観光旅行についても、外国人旅行者が居心地よく日本に滞在でき、また地域にも快く受け入れていただき、外国人旅行者および地域の方々を前向きにつなげ、インバウンド再開への理解を促す環境づくりも必要になっていく。

そしてさらにその先へ、ただ観光するだけでなく旅行者自身の行動変容までを促すような、サステナブルツーリズムをはじめとした新しい旅行のスタイルが今後の日本の観光産業の軸となると思います。

キーワードは、「サステナブル」と「ウェルネス」。

「サステナブルツーリズム」とは、「持続可能な観光」という意味があり、自然環境を大切に保ちながら、観光地の開発や観光業の活性を目指すの

が目的です。観光需要の高まりには、地域の活性化や地域雇用の創出といったメリットがあります。一方で旅行者が過度に集まる地域では、自然環境への影響や地域住民への負荷が問題となっています。観光の負の面への対応として、国連世界観光機関がかねてより提唱してきたのがサステナブルツーリズムです。サステナブルツーリズムとSDGsの17の目標は、ほとんどが関連しています。中でも、目標8、目標11、目標12、目標14の4つの目標と関連性が高い。また、サステナブルについては、訪日市場の多くを占めるアジア旅行者がコロナを機にサステナブルな旅行を志向するようになったと指摘されています。

次に、「ウェルネスツーリズム」とは、心身の健康増進や精神的幸福を目的とした旅行形態のことです。別名、“スパツーリズム”ともいわれ、旅先でのスパ、ヨガやフィットネス、レクリエーションなどを通してリフレッシュし、より健康に、より美しく、豊かな人生を送るために、明日への活力を養う旅のことです。

ウェルネスについては、ウェルネスツーリズムが年平均20%超の成長が予測されており、特に日本は「食や生活などの印象が良く、ウェルネスで求められる地方の自然や文化を生かせるので、今後の有望なマーケットだと言われています。

コロナ禍で大きく変化した観光産業をすすめるなか、サステナブル、ウェルネスやSDGs、DX、メタバースといった社会に生まれる新しいキーワードと連動し、今後観光を国の基幹産業に押し上げていくという流れの中で、改めて「ツーリズム」の持つ役割や機能は、インバウンドの誘致をはじめ地域経済と密接に関係し、地域の課題解決に貢献する価値があるということを再認識しなければならない。

# 9月例会

## 『税の話あれこれ ～税務行政の現状と課題・経験談～』

日 時：令和4年9月16日(金) 18:30～19:30  
場 所：ホテルグリーンパーク津 6F 安濃の間

講 師 津税務署 署長 富田 博之 氏



本年度の税務研修会は、昨年度に引き続きコロナ対策のとれたホテルグリーンパーク津6階安濃の間にて、津税務署長の富田博之様に「税の話あれこれ」と題しまして、税務行政の現状と課題、そして経験談を交えてご講演いただきました。

まず富田署長のご経歴は、名古屋国税局総務部を中心に多岐に渡る職務をご経験されており、各地域の法人会青年部会との関わりでは婚活パーティーを企画されたときのお話もされていました。

また、コロナ禍の中での税務行政として、税務署に行かずにできる「確定申告」など、オンライン化・チャットボットの充実などをわかりやすく説明していただきました。

常に変わる税制改正などに目を向けながら、今後も連携し、青年部会としても情報発信をできればと強く思います。

最後には出席者から出た質問にも的確にお答えいただき事業者が抱える問題や疑問を解消していただきました。



全国青年の集い

# 沖縄大会に参加



11月25日(金)沖縄市体育館にて部会長サミットが「部会員増強と会の活性化」というテーマにて行われました。各地方の単位会が10名1机で話し合いが行われるのですが、会員数が違いすぎると取り組み方も違ってくるのではという事で、今回は比較的会員数の似た単位会が同じテーブルになりディスカッションが行われました。

どの単位会も会員増強には苦勞しているという話が多い中、毎年純増している単位会もありどのような活動をしているか聞いてみたところ、

- ・青年部会に入会した時のメリット・活動内容を訪問して伝えた上で入会してもらう。

例 講演会・税務研修会等に参加して貴重な情報を得られる。

会員同士の交流・仲間・つながりが出来る。

福利厚生制度に加入できる等

- ・活動に参加してもらう為、本会にも協力してもらい人気の講師を呼んだり、役員以外でも参加しやすいイベントを開催する（バーベキュー大会・スコア100以上のゴルフ大会）

等の意見がありました、

今回の部会長サミットでの内容を組織委員会と共有し、会員増強に向けて入って良かったと思ってもらえるイベントを企画し、気軽に参加出来る会にしていきたいと思っております。



## 沖縄大会に参加して

11月24日25日の2日間、沖縄県で開催されました全国青年の集い沖縄大会に参加しました。

前回の佐賀大会は残念ながらWEB参加でしたが、今回はリアル参加することが出来ました。

会場の沖縄アリーナはとても綺麗で、会場のどこにいてもステージの様子が見られるようになっていました。

24日は「租税教育活動プレゼンテーション」「健康経営大賞」の発表があり、どの単位も素晴らしい内容でした。

これらの模様が→<https://www.youtube.com/@hojinkai.okinawa>で視聴できますので是非見て頂ければと思います。

25日午後からは記念講演「財政健全化につながる！健康経営の実装と実践」という内容で千葉大学医学部附属病院 特任教授 吉村健佑氏の講演が行われ、今後の社会保障費の増え方、健康経営の取り組み方、実践方法、今後どのように活動していくのが良いかなど、気づきやアイデアを得ることの出来る内容の講演でした。今後はもっと健康経営に力を入れて活動していきたいと思っております。

その後「大会式典」が行われ、前日行われました「租税教育活動プレゼンテーション」「健康経営大賞」の表彰式、部会員増強の表彰式が行われ全国の青年部会の連携強化の場となりました。

また会場内には租税教育活動パネル展示・物産展等もあり会員同士の交流の場となっていました。

来年の山形大会では、多くの仲間と参加し活動を共有出来たらと思います。

第37回  法人会 全国青年の集い

# 山形大会

2023年 11/9(木)▶10(金)





## 青年部会 親睦ゴルフコンペ

日時：令和4年12月9日(金)

場所：ローモンドカントリー倶楽部

12月9日(金) ローモンドカントリー倶楽部に於いて、12名の参加でゴルフコンペを開催しました。

当日は12月とは思えないほどの、ゴルフ日和の中で、プレーが繰り広げられました。

見事優勝されたのは株式会社津ドライビングスクール 倉田栄治さんでした。おめでとうございます。

参加者全員には、法人会会員企業の商品を景品としてお渡ししました。

今後もゴルフコンペ企画は計画していますので、楽しみながら、運動して健康を維持しよう！という目的で沢山の方に参加いただきたいと想います。



# 12月例会

日時：令和4年12月21日(水) 18:30~20:00

場所：高田会館 翔南閣

12月例会は、本来であれば賑やかな忘年会を開催したいところでしたが、残念ながらコロナ禍のため、飲食を伴わない会として、12月21日(水)に高田会館の翔南閣を会場にして19名の参加で開催されました。

吉村部会長からは、津法人会青年部会内でのウォーキングキャンペーンを中心とした健康経営の取組や全国大会の報告をいただき、各委員会からは本年度の活動と次年度の計画について報告をいただきました。

特にコロナ禍においても、重要な活動である租税教室について、様々な対策を取りながら開催し続けていることは非常に価値があると考えています。

その後、OB会員でもあるヨガインストラクター 浅田紀代美氏によるリフレッシュヨガ体験をしました。普段はなかなかしない、呼吸法や姿勢を楽しみながら経験できて、皆さんとても満足されていました。

飲食は出来ないながらも、リアルに集まりコミュニケーションを取るといことは、zoomなどで便利になった世の中でも、とても大切なのではないでしょうか？

次年度は、リアルに集まり、飲食を伴う懇親会が出来ることを期待したいと願っています。



# 2月例会

## 『在り方講座』

～新年に経営者としての在り方を見直そう!!～



日 時：令和5年2月21日(火) 18:30～19:45  
場 所：ホテルグリーンパーク津 6F 葵・橘・藤の間

講 師 プロコーチカウンセラー 三木 強志 氏

令和5年2月21日(火)に、津法人会青年部会2月例会を開催しました。今回は、1月の新年交流会と合同開催となり、プロコーチカウンセラーの三木強志様に、「在り方講座」～新年に経営者としての在り方を見直そう!!～と題しまして、ご講演をいただきました。

最終25名のご参加をいただき、講演が始まりました。

三木様は、13年製造業の法人営業に携わりますが、自分の人生に悩み、退職をきっかけにコーチング・カウンセリングを学び、メンタルケア・セルフケアを通して、人生が好転していくことを実感されました。

そして、今回の在り方講座の中では、在り方とは「考え方・視点・思い込みのクセ」や、在り方の整え方として、①視点を変える ②背景を知る、など具体的なやり方を教えていただきました。コップの中に半分しか水が無いと思うか、コップの中に水がまだ半分もあると思うかは、水の部分を見るのか、水が無い部分を見るのかで、見え方は確かに変わるとい、実際人生でも会社経営でも、そのような視点を変えるだけで、感じ方は変わると強く感じました。

事例の紹介や、質疑応答でも気さくにお答えいただき、大変学び深い2月例会となりました。

お忙しい中、快く講師を受けていただいた三木様、そしてご参加いただいた会員の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



## 租税教育活動報告

### 租税教室 in 「ジュニアエコノミーカレッジ in 津」 ～津商工会議所青年部とのコラボ企画～

令和4年8月28日に、租税教育活動の一環として、津商工会議所青年部主催の「ジュニアエコノミーカレッジ in 津」において、租税教室を開催いたしました。

3年ぶりの開催ということもあり、お互いに無事に開催できるか不安視しているところもありましたが、「津うのまち税金MAP」を初めて利用した授業であったり、恒例の税金クイズや1億円のレプリカに、子どもたちも楽しく真剣に取り組む姿勢を見ることができ、今回も子どもたちに「税」に関する理解と大切さを学んでもらえる良い機会にすることができました。

ジュニアエコノミーカレッジとは、津市内小学5・6年生を対象とし、模擬株式会社を設立し、ドリームプラン(事業計画書)を作成したうえで出資金を集め、チームで商品の開発・製作・仕入れをします。帳簿のつけ方やビジネスマナーを学び、その後販売の実践・決算報告・税金の納付(津市に寄付)をして、商売の仕組みを学ぶ起業体験プログラムです。

# 租税教育活動報告

令和4年度2学期3学期の租税教室を終えて

9月14日 上野小学校、1月19日 立成小学校にて租税教室を行いました。

これまで何度か租税教室に参加させていただいていましたが、今年ようやく租税教室講師養成研修を受講してきました。

今までは、用意していただいていた台本に沿って何気なく説明をしているだけでしたが、研修を通して「税金は誰かを想う気持ち」この事をしっかりと伝えなければいけないのだと改めて感じました。また、研修内での成功事例として私たちの授業内容が数多く取り上げられており、先輩方が作り上げてきた授業内容が他の模範となる素晴らしいものなのだと誇らしく思い、これからはしっかりとつないでいかなければならないと責任も感じました。

今回終えた2校については、税金について授業で習っている事を積極的に発言してくれる児童が多かったと思います。なぞなぞに登場する金閣寺についても「修学旅行で行ってきた」と声をあげる子も多くいました。学校が違うので簡単に比較はできませんが、1学期と比べ成長しているのだと感じました。

毎回大歓声で迎えられるシロモチくんですが、今回も大喜びで迎えていただきました。話しかけてくる子、恥ずかしそうに手を振ってくれる子、怖がって逃げる子、無視するシャイな子、シロモチくんの中から見ているといろいろなリアクションを間近で見られてとても楽しいです。

途中低学年と遭遇してしまい一緒に遊んだり、部屋に隠れていたら児童が入ってきたり、ゆるキャラならではの緊張感があります。

このドキドキを皆さんも味わってはいかがでしょうか。

来年度も租税教室のご参加とご協力よろしくお願いいたします。



## 令和4年度 新人会員

【4月～2月】

(順不同・敬称略)

1 日本土建株式会社	小 崎 立 己
2 株式会社HORIKOSHI	堀 越 大二郎
3 株式会社ZTV	掛 橋 直 樹
4 中部商事株式会社	川 治 友 和
5 株式会社KUBO	久 保 仁 志
6 株式会社鳥鹿養鶏園	伊 藤 徳 仁
7 有限会社イケバン	池 田 司 哉
8 株式会社HARUYA	長谷川 崇 治
9 株式会社創建	松 島 康 雄
10 株式会社アベックスコーポレーション	木 村 奨
11 AGETE株式会社	伊 藤 優
12 株式会社森田工業所	森 田 和 也
13 株式会社三重空調	西 村 康太郎
14 三重交通株式会社	市 井 俊 祐
15 有限会社ガージュエ	神 尾 秀 人